

東京オリンピックにむけて（1950～1964） その7

《1963年、新住宅市街地開発法制定、多摩ニュータウン計画登場—まちづくりビッグバン その2》

今回は、まちづくりビッグバンその2として、首都圏が平面的拡大を選択した経緯を紹介しましょう。こうした背景の下、首都圏は、世界最大の人家連担地域を有するメガロポリスになっていきます。

それまでの首都圏整備法に基づく第1次首都圏基本計画（1958年制定）では、東京都区部などの周辺に近郊地帯（グリーンベルト）を、またその外側に衛星都市（「市街地開発区域」）を配置することにしていました。（注1）

ところが、近郊地帯は、反対にあって指定できない一方で、人口急増が深刻な住宅不足を引き起こし、乱開発が横行していたのです。そこで、乱開発されるより、郊外に計画市街地を整備し、そこに人口を吸収しようと、多摩川ニュータウン計画が急浮上します。

1963年（昭和38）、「新住宅市街地開発法」が制定されて、多摩ニュータウン計画が具体化に向け動き出します。そして、1964年（昭和39）10月2日、オリンピック開催式の8日前、東京都都市計画審議会から、多摩ニュータウン計画が答申されました。

これを契機に、首都圏整備法は、オリンピック翌年の1965年（40年）6月に改正され、近郊地帯（グリーンベルト）を廃止して近郊整備地域に変更し、また衛星都市（「都市開発区域」と名称変更）を整備することになります。（注2）

そして、1965年（昭和40）12月28日、多摩ニュータウン計画が正式に決定され、告示されました。計画面積は約29km²であり、江戸城外濠に囲まれた面積（約21km²）より大きく、多摩川流域面積（1240km²）の2%強に相当する巨大事業でした。（注3）

多摩ニュータウンは、各種のインフラを先行して整備していかなければなりません。開発は、新住宅市街地開発事業と土地区画整理事業を併用して進められ、道

路、鉄道、河川、下水とそれぞれの公共事業は、補助金と開発利益が充当されて進められていきました。（注4）

注1：東京グリーンベルト構想は、1939年（昭和14）に策定された東京緑化計画にまで遡ります。これは、国際都市計画学会の決議に従い、内務省が中心となって、「東京緑地計画協議会」においてまとめられたものです。こうした思考を受け継ぎ、首都圏整備計画委員会は、1958年（昭和33）、第1次首都圏基本計画を策定します。

計画目標年次の1975年（昭和50）に、首都圏人口を2660万人と設定し、東京都区部は、工場、大学などの新增設を制限して分散困難な産業や人口に限り増加を認めるものとし、区部等の既成市街地周辺に幅10km程度の近郊地帯（グリーンベルト）を設定し、その外側に市街地開発区域（衛星都市）を配置する計画でした。

注2：首都圏整備法の改正は、東急が進めていた「田園都市計画」をも肯定的に是認するものでした。すなわち、内容は、近郊地帯（グリーンベルト）を廃止し、新たに既成市街地を囲む半径約50kmの地域に近郊整備地帯を設定し、この地域を、既成市街地周辺の無秩序な市街化を抑制し、計画的に市街地を整備し、併せて緑地の保全を図る区域としました。

この法改正を受け、1968年（昭和43）10月、第2次首都圏基本計画が決定。首都圏人口が1975年に3310万人（1965年2696万人）に増加すると見込み、グリーンベルト（近郊地帯）に代わって設定された近郊整備地帯に、強い市街化の趨勢に対し、計画的な市街地の展開と緑地空間との調和ある共存を図ることとしました。

注3：計画対象地域は、神奈川県側との河川協議を避けるため、多摩川流域内を対象としており、流域思想という観点では、先見性があったと思われます。

注4：主要な沿革

1971年（昭和46）、最初の入居が諏訪・永山地区で開始

1971年（昭和46）、京王相模原線多摩川鉄道橋が竣工

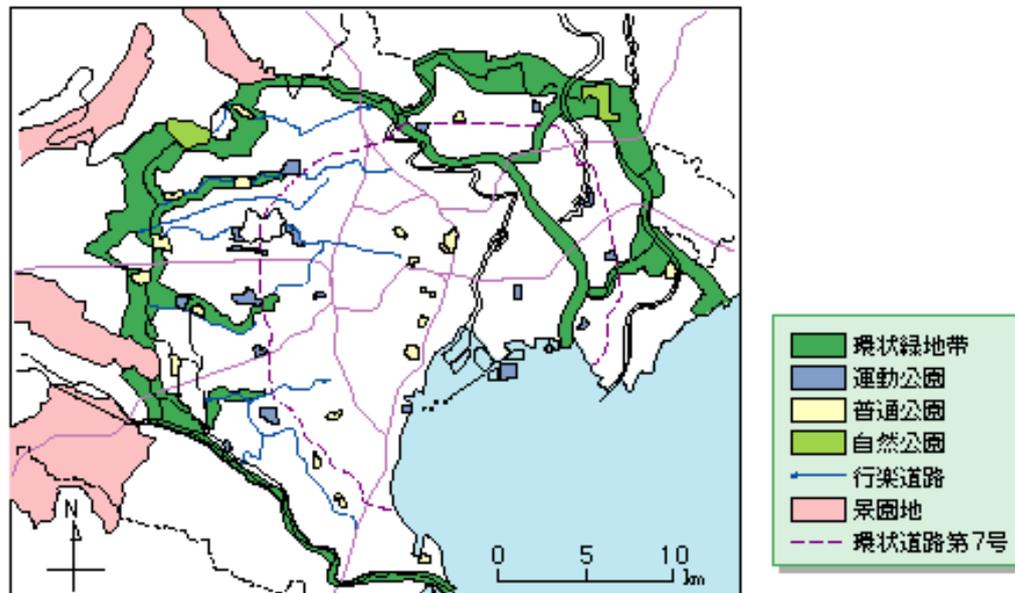
1974年（昭和49）、多摩センター駅開業

1976年（昭和51）、南多摩污水处理場稼働開始

1984年（昭和59）、三沢川分水路完成

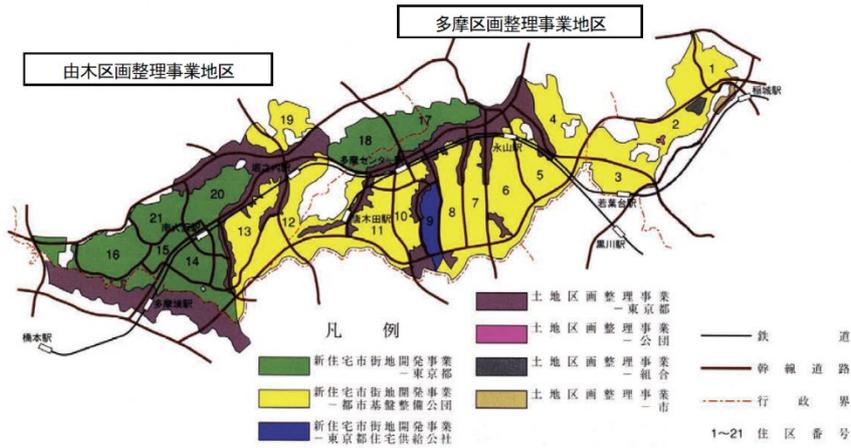
写真は、①東京グリーンベルト構想（平成12年「建設白書」掲載資料）、②多摩ニュータウンの位置（東京都都市整備局HP掲載資料）、③多摩ニュータウンの施工主体、④多摩ニュータウンの河川整備図、⑤多摩ニュータウンの下水幹線図、⑥多摩ニュータウンの幹線道路図（③・④・⑤・⑥は、論文「多摩ニュータウンの整備プロセスにおける都市基盤施設の整備に関する研究」霜田 宜久・大沢 昌玄・岸井 隆幸著掲載資料に、一部細見加筆）

東京緑地計画の区域（東京市附近）

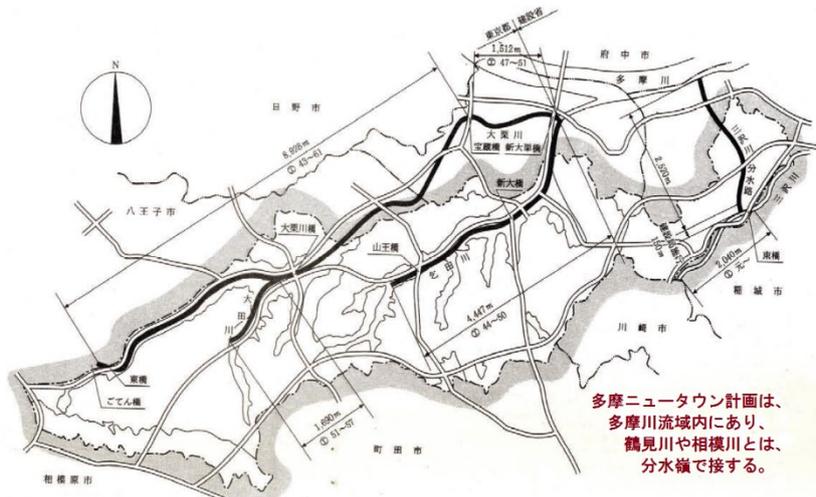


注) このときの東京緑地計画は東京都および神奈川、埼玉、千葉、茨城、山梨の各県にわたる広範な東京地方緑地計画を完成決定しており、本図は東京市附近を示す。

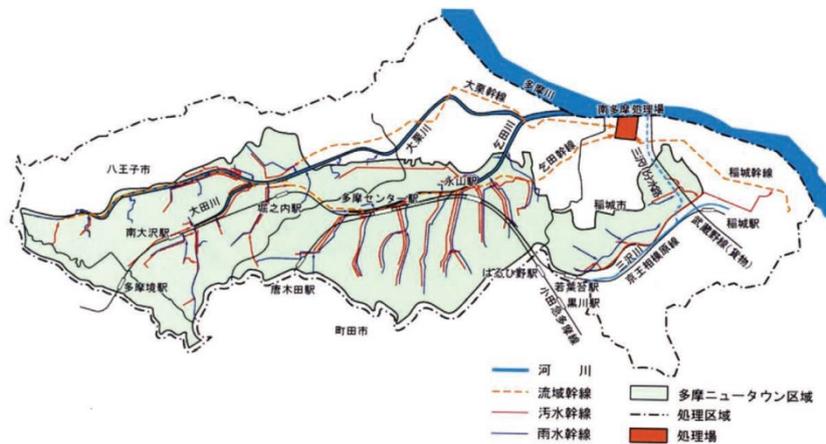




多摩ニュータウン施行者別開発図 (資料: 「事業概要」平成15年版 東京都)



河川の整備計画 (資料: 「事業概要」平成14年版 東京都)



下水道計画概要図 (資料: 「多摩ニュータウン開発事業誌 一通史編一」 UR都市機構)